

支援事例

商工会名	球磨村 商工会	氏名	國政 孝明	情報開示の可否	可
支援テーマ	事業承継	題名	オープンネーム承継による技術の継承		

<支援企業の概要>

事業所名	球磨豆腐こんにゃく	従業員	0 人	創業/ 会社設立	創業日	1984年4月1日
業種	製造業	うち家族従業員	0 人		業歴	40年11ヶ月

○企業概要

球磨豆腐こんにゃくは、先代の母親から引継ぎ現在2代目が承継し25年程度経過している。球磨村の高沢地区で営業をしているが、過疎化の中で地区の存続も厳しい状態となっている。令和2年豪雨災害に被災し併せてコロナ禍、今年で80歳となる年齢的なことも含めて現在では、豆腐・こんにゃくのスーパーなど小売店への卸を断念し、豆腐のみそ漬けを製造し近くの物産館などへ卸している。工場の機械は、被災後に修繕や取り換えを行い現在も稼働できる状態である。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

高齢となり、事業の継続に不安があるとの相談を受ける。
後継者もいないため事業を閉鎖することも考えているが、工場の機械は十分稼働できるため、機械を業者に引き取ってもらうのが良いかとの相談があった。
工場の機械を確認したところ手入れもされており、稼働もできることを確認した。
改めて事業閉鎖の確認を行うと、地区の過疎化もあり、できれば若い方に事業を継承してもらいたいとの思いがあること、自分の技術を後世に伝えていきたいのと思いがあることが分かった。

○支援内容および支援後の状況・効果

本人への聞き取りと現地視察により商工会の県連会報に掲載できるオープンネーム承継について説明を行い、内容を確認してもらったうえで了承を得た。
西邨特任指導員に連絡をして取材を行い詳細の聞き取りを行った。
9月号に掲載される記事の確認を行い、了承を得た。
効果については、今後の状況を見守るが、事業廃止だけでなく、第三者への承継について理解を得ることで新たな承継への道が繋がったことは、とても良かった点である。

○今後について（目標や課題など）

できるだけ地域の事業所をなくさないためにも承継を成功させたいが、本人の希望によりできるだけ早い時期での承継を希望されているため、別途商工会からも情報の提供を行い、広い範囲での公開を目指す。
行政にも情報を提供することで、地域おこし協力隊への情報提供にも繋げていければと思う。